

「出合いを楽しもう！」

会長 高山 訓正



THE WEEKLY REPORT

2011~2012

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

TAKIKAWA ROTARY CLUB

本日は 第2769回 例会

プログラム

観桜会

No. 2607 5月12日(土)

次週以降の予定

5月17日(木) 今期旅行・島根の旅報告

5月24日(木) 災害派遣隊員職業表彰

5月31日(木) ゲスト卓話

第2767回 例会報告

2012年 4月26日(木)

会長挨拶



本日の例会は、2011年3月11日午後3時9分に東北・北海道を襲った大震災の卓話であります。大変な犠牲者を出した災害でしたが、今回の震災では、先人から受け継いだ教訓を守ったことで、被害を最小限に食い止めた地域があります。

岩手県宮古市の姉吉地区もそのひとつで、「此処より下に家を建てるな」の津波石で話題になった地区ですが、津波はこの津波記憶石の10m上まで襲ってきました。昔の伝え以上の大きな津波でした。そして、大地震と津波はいつ発生するか不明でしょうが、後世のために今いる場所からどこへ逃げれば良いかを決めておくことが大切でしょう。それを今回わがクラブ会員の山崎会員グループの全国優良石材店300社で構成する墓石業者によって「命の復幸計画」岩手・宮城・福島などの津波被害を受けた沿岸部500kmに500石碑の建立を目指すという事業を進めているそうです。再度大地震が起こらないことを祈りながら完成が待ち遠しいです。

幹事報告



1. 来週5月に入りますと、連休がありロータリーの例会も変則的になりますので、後日FAXにて皆様へ送信されます5月のプログラムをよくご確認の上間違えないようお願いいたします。

2. 本日配布した会報で間違いがございます。5月13日(日)観桜会となっておりますが、12日(土)午後1時に滝川駅集合となりますので、間違わぬようお願いいたします。

委員会報告・会員情報



新世代活動委員会

泉 敬止 委員長

5月27日(日)に野球大会を企画しております。当クラブの野球同好会と相手は、国学院短期大学軟式野球部のチームです。詳しい内容は後日プリント物によりご連絡致します。場所は、石狩川河川敷の球場となっております。国学院の野球部には、一人女性部員がおられてプロを目指してとのこと。滝川ロータリーが勝てると思いますが、頑張ってください。



次年度幹事 川原 弘嗣

次年度の第5回理事会、ならびに第2回クラブ協議会の開催のご案内です。5月15日(火)午後5時30分から理事会を3Fフレスコで、午後6時30分からクラブ協議会を2F丹頂でそれぞれ開催します。役員・理事・委員長の出席をよろしくお願いたします。また、次年度各委員会の活動計画書を5月6日(日)までに提出して下さい。

先週のプログラム

☆総務委員会担当例会☆

「津波記憶石プロジェクトの活動」



総務委員会 山崎 修 委員長

今日の例会を担当します、山崎と申します。今日の卓話は私が行います。津波の記憶石について、何故このような企画を行うと考えたかということ、昨年3月11日の津波の様子をテレビの映像を見て、

信じられない光景を目にして、日本人の誰もがこれは大変なことだと感じ、そしてこの復興には大変な時間がかかると思いました。

この地域には「てんでんこ」という言葉があり、防災伝承の言葉で「めいめいに」ということで、津波が来たら取るものもとりにあえず肉親にも構わず、とにかくばらばらに一人が高台に逃げろ、という意味だそうです。

ここで紹介した岩崎おかみという人は、この「てんでんこ」という言葉を守らないで、一人高台から下りて海の見えない村人に対して、逃げろと村人を誘導した人です。本人も津波にのまれたのですが助かりました。

3.11から1年以上が経ち、国民の記憶から薄れていき、さらにこの地域が1年や2年で復興できるものではないと思ひ、長く継続的に支援できる方法がないかと思ひ、自分の石材屋を通じて支援していくことを考えました。

先人の石碑ということで、東日本の被災地には200箇所以上あるといわれています。昭和8年の津波、明治の津波の記念碑として建てられています。実際には元の位置から移設されたものもあるそうです。今回の津波に対して、想定外と言う人もいますが、過去の先人たちが経験したことを石に残したことは津波記憶石として地域にしっかり記憶されていたことがわかりました。

当初、ウォーターラインということ、被災地の500箇所に建てていこうと考えてましたが、実際にはその場所に人間が住んでいない場所だったりして、必ずしもウォーターラインに石碑を建てるのではなく、人が見える場所に、津波が来たら逃げろというメッセージのような石碑があってもいいのではないかと、現地の情報をもとにかたちを変えています。

そして、石碑に刻まれた教訓の言葉として「ともかく上へ上へ逃げよ。てんでんこで逃げよ。自分を助けよ。この地まで、津波が来たこと、そして裏山へ逃げ多くの人助かったことを、後世に伝えてほしい」これも地域の人たちの声を聞いて、この文章を作りました。

石に言葉を刻むということは、後世に

伝える手段としては確実なものでありますが、最近ではITなども利用することを取り入れました。石碑にステンドレスを貼り付け、QRコードを刻み、それをスマートフォンで読み取ると文章や映像、写真などが読み取れるというものです。

実は、津波石の第一号を建てるにあたりさまざまな障壁がありました。それは、町づくりの予定がまったく決まっていなかったことと、市の許可をもらうことでしたが、岩崎おかみや地域の方々の熱意で許可が下りました。

全優石では、500基の津波記憶石の建立を目指し、支援金募金や企業・団体・個人からの寄付や支援を受け付けておりますので、よろしくお願いします。



ニコニコBOX

高山 訓正会員

4月例会無事終えて。5月・6月出席
よろしくお願いします。

武田 邦彦会員

4月14日滝川医師会創立30周年記念式典で表彰を受けて。4月22日空知文化団体連絡協議会から岩見沢で表彰されて。

樫原 一朗会員

結婚記念日にお花をいただいて。

山崎 修会員

津波記憶石の話しをさせて頂きまして、
有り難うございます。

会長／高山 訓正
幹事／宮崎 英彰
編集／クラブ会報委員会

電子メール info@rotary.gr.jp
ホームページ http://www.rotary.gr.jp/

例会日●毎週木曜日 PM0:30
例会場●ホテルスエヒロ
事務局●ホテルスエヒロ 7F

〒073-0032 滝川市明神町2丁目2-16
TEL (0125) 22-3344
FAX (0125) 24-2755



クラブ会報は再生紙を使用しています。